

◆ ご支援ありがとうございます! ◆

鳥畑 純一 様
 (株)未来塾 岸野一夫 様
 未来塾チャリティ 様
 大西 有隆 様
 (株)ハートインターナショナル 様
 (株)北山興産 様
 (株)ロジネットアドバンス 様
 (株)バシ・コム
 代表取締役 渡邊ひとみ 様
 MIGP チャリティ 様
 (株)ライフアレンジメント office 関
 代表取締役 関秀樹 様
 (株)テイスト 代表取締役 櫻庭乙慶 様
 HR ソリューションズ(株)
 代表取締役 武井繁 様
 (株)ウェブコミュニケーションズ
 代表取締役 高山指月 様
 (株)M・A-Logi
 代表取締役 田中満廣 様
 (公社)鎌田財団 様
 ネオス(株) 様
 大建ビルテクノ(株) 様

(有)谷裕 代表取締役 谷山明美 様
 絆ライブ 長井利美 様
 なだれ坂音楽祭実行委員会 様
 (株)三和 様
 (株)葉山国際カンツリー倶楽部 様
 (株)葉山産業 様
 鈴木 克明 様
 渡邊 由紀子 様
 上田 彰 様
 吉田 眞紀子 様
 竹内 陽治 様
 (株)suu・suu・CHAIYOO
 代表取締役 川口洋 様
 田中 早知子 様
 鈴木 秀世 様
 金代 直人 様
 久保木 一政 様
 (株)ミッドランズ 様
 窪田 孝子 様
 地引電機工業(株)
 代表取締役社長 地引恒夫 様
 服部 美亜 様

高橋 昌子 様
 サカエイブキ 様
 (株)スターエンタープライズ 様
 (株)スターストア 様
 (株)スタービル 様
 (株)ほうらいやビル 様
 菅井 栄子 様
 額賀 真理子 様
 植木 裕 様
 堀場 功一郎 様
 学校法人 福岡雙葉中学校・高等学校 様
 那波 節子 様
 (株)モガンボ 代表取締役 田中雅史 様
 リーディング(株)
 代表取締役 松本朋治 様
 高山 真弓 様
 渡邊 仁久 様
 森 健次郎 様 (順不同)

多くの皆様のご賛同、
 ご支援で、子供みらい基金は
 運営されています。

日頃より、子供みらい基金の活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。私たちは、児童養護施設で暮らす子どもたちが、18歳で社会に巣立つその日から希望を持って生きていけるよう、奨学金支援や体験の機会づくりを続けています。このたび、そうした継続的な取り組みが評価され、「ライオンズアワード」(六本木ライオンズクラブ主催)福祉活動部門での受賞という大変光栄な機会をいただきました。この栄誉は、私たちの努力だけでなく、子どもたちを思い、支えてくださる多くの方々のお力添えの賜物です。改めて心より感謝申し上げます。これからも「一人でも多くの子どもに、未来を贈る」という理念を胸に、社会の中にやさしさの輪を広げてまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



一般社団法人 子供みらい基金 理事長 池田 幸司

児童養護施設の
皆様へ

要項の概要は表紙(P1)の通りです。詳しくはホームページをご覧ください。

ご支援いただく
皆様へ

当基金の活動は、皆様の支援を礎として成り立っております。子どもたちを継続的に支えていくためには皆様のご支援が是非とも必要です。ホームページからご支援いただくか、当基金までメールなどにてお問い合わせください。

<https://children-future.info/> [✉ mirai@children-future.info](mailto:mirai@children-future.info)

ご寄付のお願い

子供みらい基金の活動は皆様の善意で成り立っております。金額、時期の決まっていない「スポットでのご寄付」の他、「毎月の定額寄付」(毎月2万円、1万円、5千円、最低2千円でも受け付けております。銀行口座自動引き落とし、クレジット決済も可能です)でもお受けしております。お申し込みは下記の方法でお願いします。

お申し込み方法

① ホームページからお申込み

<https://children-future.info/>

② メールまたはお電話でお申し込み・お問い合わせ

一般社団法人 子供みらい基金 事務局 | 〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
 Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789 ✉ mirai@children-future.info

一般社団法人 子供みらい基金 機関紙

Tetote



一般社団法人

子供みらい基金

厚生労働省職業紹介許可番号 13-ユ-308586

事務局

2025年11月発行

〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203

Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789

E-mail: mirai@children-future.info

URL: <https://children-future.info>

ホームページ

2026年度入学 子供みらい基金奨学金のご案内です

募集要項は11月末までに子供みらい基金ホームページ上に掲載します

保育士資格取得 奨学金 「保育士ゆめ基金」

児童養護施設に暮らし、保育士を目指す子どもたちへ

(保育士資格が取得できる教育機関であれば、専門学校、大学など問いません)

「家庭に恵まれない環境に育った自分が、保育士となり、子どもたちに関わる仕事をしたい」 児童養護施設で暮らす子どもたちのそんな夢を支えてあげたい、一般社団法人子供みらい基金はそんな思いから保育士資格取得奨学金「保育士ゆめ基金」を運営しています。

● 募集要項概要〈2026年度入学〉 ●

1) 奨学金

- ・本奨学金は児童養護施設等を卒園し、保育士資格取得を目指す児童を対象としています
- ・本奨学金は一人当たり総額60万円の給付型奨学金です(入学時30万円、学校を卒業・保育士資格を取得した就業時30万円)
- ・他奨学金との重複は問いません

2) 奨学生の資格

- ・申請時、児童養護施設に在籍している高校3年生
- ・保育士を目指し、保育士として働く意思が明確であること
- ・品行方正であるもの
- ・厚生労働大臣の指定する保育士を育成する学校に通学予定の学生

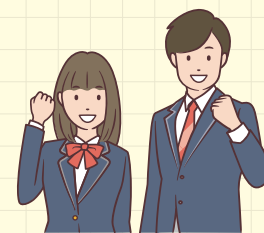
4年生大学進学奨学金 「サンバード基金」

関東近県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の児童養護施設で暮らす子どもたちへ

(学部は問いません)



サンバード基金は、家庭環境に恵まれない子どもたちが大学で学び、自らの力で将来を切り開くことを支援する奨学金です。この基金は、篤志家であるJ・Tさんをはじめ、多くのご支援をいただいている方々の厚意によって運営されています。子どもたちが世界に羽ばたいていけるようにとの願いが込められています。



● 募集要項概要〈2026年度入学〉 ●

1) 奨学金

- ・本奨学金は関東近県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)養護施設等を卒園し、4年制大学に進学を希望する児童を対象としています
- ・本奨学金は一人当たり年間30万円を4年間、総額120万円の給付型奨学金です
- ・他奨学金との重複は問いません

2) 奨学生の資格

- ・申請時、児童養護施設に在籍している高校3年生
- ・品行方正であるもの
- ・4年制大学、通学予定の学生

現役奨学生からのお便り

一歩ずつ、夢に向かって ― みらい基金奨学生、学校での学びを未来へ

MO さん (短大2年生)

短大の社会福祉学科に入学してはや1年半が経とうとしています。私はこの1年半怒涛の日々を送ってきました。1年の後期から保育実習、ソーシャルワーク実習が入り、授業での学びと現場の学びを習得してきました。保育実習では、子どもとの関わり方、子どもの成長について学んできました。ソーシャルワーク実習では、生活に困っている人、障害を抱えている人より良い支援とはなにか、その支援を行うためには何ができるのかを考える実習となりました。2年次には、いよいよ就職について徐々に考えていく段階になり、実習にて様々な分野の福祉施設に実習させて頂き、どの実習先も魅力的な面が沢山ありました。この経験の中で私の特性、性格にあった就職先を見つけ、福祉現場に入った際には、大学で学んだこと、実習で学んだことを発揮できるように今のうちから力をつけていきたいと考えています。そして、地域やさまざまなところで困難を抱えている人、悩んでいる人、助けを求めている人に優しく手を差し伸べてその人にとって心の支えとなれるような支援者になりたいと思います。また、これまでお世話になった児童養護施設の職員の方々にも胸を張って頑張っていることを言えるになりたいと思います。

TT さん (大学1年生)

入学当初は大学生活への期待と不安が入り混じっていましたが、授業や課題を通して徐々に慣れてきました。特に興味深かったのは、社会心理学の講義で、人の行動や考え方に影響を与える要因を学べたことです。高校までとは違い、自分の考えを深めて発表する授業が多く、最初は緊張しましたが、回数を重ねるうちに自信を持てるようになりました。友人や先生との交流も増え、授業以外の会話から新しい価値観を得られたことが印象的です。サークル活動ではイベント運営に携わり、チームで協力する大切さを学びました。今後は、専門分野への理解をさらに深め、学んだ知識を社会で生かせるよう努力していきたいです。大学生活を通じて、自分の成長を実感しながら充実した時間を過ごしています。将来はスクールカウンセラーとして子どもたちの成長を支えられるような人材になりたいと考えています。

JN さん (大学1年生)

大学入学後、フランス語の学習に力を入れてきました。初めは発音や文法に戸惑いでしたが、授業での会話練習やペアワークを通して、少しずつ聞き取りや表現に慣れてきました。フランスの歴史や文化について学ぶうちに、その奥深さに魅了され、現地の生活や考え方にも興味を持つようになりました。英語とは異なる言語構造に触れることで、言葉の背景にある文化の違いを実感しています。授業外でも、語学サークルの活動や映画鑑賞を通して学びを広げ、友人と刺激し合いながら成長できました。課題やテストで大変な時期もありましたが、継続する努力の大切さを学び、自信につながりました。今後は語学力をさらに高め、まずは11月に行われる3級の試験に挑戦し将来的にはフランス語を生かせる職業や留学にも挑戦したいと考えています。

SW さん (大学2年生)

現在、大学2年生の前期が終わり、後期に入りました。進級時に予想していた通り、2年次からはさらに専門的になり、授業の難易度も上がりました。しかし、学科の友人たちと協力して課題に取り組んだり、分からない点を教え合ったりすることで、乗り越えることができました。後期も仲間と共に努力し、学んでいきたいと思っています。サークル活動では、この夏から幹部の会計を務めることになり

ました。今まではプレイヤーとして音楽を楽しむことが中心でしたが、これからはサークルの運営を担う立場として、会計業務を通じて組織を動かす力や責任感を養っていきたいと考えています。来年からは教職課程が本格的に始まり、より忙しくなります。だからこそ、今のうちにサークル活動を通じて先輩や後輩など多くの人と積極的に関わり、今できることを全力で楽しむ時間を大切にしたいと考えています。将来の夢は変わらず高校の数学教員です。教員になった際には軽音楽部の顧問をしたいと考えています。そこで、サークルの幹部としての運営を部活動指導に活かしたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

SU さん (大学2年生)

大学2年の秋学期を迎え、将来を意識した学びが本格化しています。研究室配属は2年次から可能ですが、私は授業との両立を優先し、3年次からの配属を選びました。教職課程では週6日の授業を受け、10月下旬には介護施設での実習が予定されています。初めての校外実習に向け、基本的なマナーや障害への理解を深め、体験を通して学ぶ姿勢で臨みたいと考えています。将来は高校の教員を目指しており、母校での勤務を希望していますが、状況に応じて他校や公立校も視野に入れています。県の採用試験は3年次から前倒し受験が可能のため、今から本格的に準備を進め、来年の試験に挑戦する予定です。

YO さん (大学3年生)

大学3年生の春学期を終え、これまでに取得した単位は94単位となり、卒業要件に対して順調に進んでいます。ゼミ活動では、中世社会における無縁の人々が果たした役割を研究し、春学期の発表では高評価をいただきました。また、ゼミの評定もAを取得し、学業面で一定の成果を残せたことは、自分の学習姿勢や分析の方法が評価された結果なのではないかと思っています。サークル活動では、企画としての役割を果たし、月2回のペースで開催されるライブ運営をサポートしました。先輩という立場から、ライブハウスの予約や当日の進行管理を、仲間といかに連携して行か的重要性を実感し、学生生活を楽しみながらも責任を持って役割を全うすることができました。

一方で、今期の反省点として、夏季休暇の活動がサークル中心となり、就職活動に関わるインター参加や企業研究を十分に進められなかった点があります。2年次の終わりに、3年生の夏季休暇までにインター参加を目標としていましたが、実際にはライブや合宿に多くの時間を割いた結果、計画を実現できませんでした。今後はサークルと就職活動の両立をより意識し、計画的に時間を活用していきたいと考えています。学業やゼミ、サークルでの経験は、自分にとって大きな学びであり、特にサークル運営で培った企画力や協働力は、社会に出た際にも活かせる強みだと感じています。今後はこれらを基盤としながら、不足している実務経験を補い、よりバランスの取れた学生生活を実践していきたいと思っています。

現在の生活と将来への展望

AJ さん (大学3年生)

私は現在、ゼミでアパレルCADを用いたデザインに取り組んでいます。ゼミではチームで協力して企画から制作まで行い、アイデアを形にするプロセスを経験しています。実際にソフトを使いながら作品を制作することで、従来の服飾にとどまらないデジタル表現の可能性を感じています。必修科目はほぼ修得し、卒業までに必要な単位も残りわずかとなったため、今後はより専門的な分野に力を注いで取り組む予定です。

また、夏期休暇には人事や営業をはじめ、複数のインターンシップに参加しました。人事では応募者対応や面接補助を通じて、相手の立場に立った観察力や配慮の大切さを学びました。営業では実際の提案活動を経験することで、相手のニーズを把握して伝える力や、行動力の重要性を実感しました。こうした経験を通じて、学びを実践につなげる力を深めることができました。

これらの経験から、私はデジタルで表現することへの関心を強めました。服飾で培った感性をデジタルの世界に活かし、ファッションとITを結びつけた新たな表現に挑戦したいと考えています。そのために資格取得に向けた学習も始めており、今後も努力を重ねながら将来像を具体化していきたいと思っています。

KI さん (大学4年生)

現在の私は、生活リズムの乱れという大きな課題を抱えている。その主因は、自分の技術力を高めたいという思いが強すぎるあまり、睡眠不足や食事の軽視を招いている点にある。夢中になると周囲が見えなくなり、生活の基本をないがしろにしてしまう傾向があるため、夜型の生活に陥り、大学へ足を運ばない日も増えてしまった。その結果、卒業論文の進捗も滞り、多くの人に迷惑や心配をかけていることを最近になって実感している。これに対する解決策として、やりたいことに対してあらかじめ制限時間を設け、無制限に取り組まないよう心掛けている。体力や集中力が持続するからといって何時間も連続で作業を続けたことを反省し、時間を区切るこ

とで生活の基盤を取り戻しつつある。こうした小さな改善を積み重ねることが、学業や日常を安定させる第一歩だと考えている。

4年生の前期を終えて

AI さん (大学4年生)

4年生の前期では、就職試験や予備的研究（卒業論文）、病院実習、公衆衛生看護学実習など、様々なことに取り組みました。病院実習は4年後期にも残っていますが、就職試験と予備的研究、公衆衛生看護学実習は無事に終えることができました。これまでの大学生活のなかで、私は特に精神保健分野に関心を持ったため、就職先は大学の関連病院ではなく、精神科の入院病床を有する総合病院を選択しました。総合病院であるため、他の科での経験も積みながら看護師として成長していきたいと考えています。また予備的研究では、精神科病棟で働く看護師を対象にインタビューを行いました。看護師の役割意識や患者との関わりにおける構造的な困難にも着目することができ、今後働く上で多くの学びを得られました。さらに、公衆衛生看護学実習では、市町村保健センターや保健所に行き、病院だけではない看護職の役割を学びました。病院以外の実習を通して、地域で生活する人々の中には、医療的介入が必要であっても支援を受けていない方や、様々な理由で支援につながらない方がいることを認識し、病院という場の狭さや特殊性を改めて実感しました。後期は最後の病院実習や看護師国家試験・保健師国家試験があるため、今後も学びを深めていきたいです。

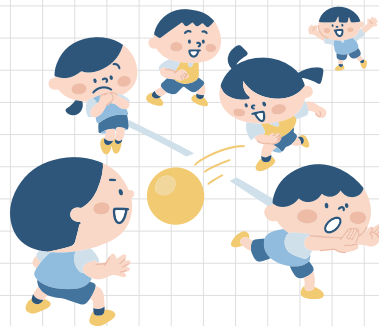
Topics

東京タワー・オレンジリボン点灯式に特別協力団体として参加



11月23日、児童虐待防止推進月間の全国キャンペーンとして行われた「東京タワー・オレンジリボン点灯式」に、子供みらい基金は特別協力団体として参加しました。この取り組みは、子どもへの虐待防止を社会全体で呼びかけることを目的に、東京タワーが18時9分（児童虐待防ダイヤル189にちなむ）にオレンジ色にライトアップされる象徴的なイベントです。当日は、港区立芝公園に多くの来場者が集い、児童養護施設の子どもたちや関係団体がそれぞれの思いを胸にキャンドルの灯を掲げました。子供みらい基金からは、池田幸司代表理事がキャンドル点灯式に参加し、子どもたちの命と未来に光をともし祈りを込めました。このオレンジの光は、私たちが日々向き合う現実 ―― 虐待や困難な環境の中でも懸命に生きる子どもたちへの希望の象徴でもあります。基金では、今後も児童養護施設の子どもたちが安心して暮らし、笑顔で未来を描ける社会を目指し、地域・行政・民間団体と連携した支援を続けてまいります。

子どもたちのスポーツ支援



本年度も都内の児童養護施設の子どもたちが参加する球技大会「江戸っ子杯」（主催：東京都社会福祉協議会児童部会）のドッジボールの部・サッカーの部においてトロフィーの贈呈をいたしました。スポーツを楽しむ子どもたちのために今後とも支援を継続してまいります。

